

原 広 七 発 第 4 号  
平成29年4月12日

柏崎市立小中学校長 様  
刈羽村立小中学校長 様  
出雲崎町立小中学校長 様

(公財) 柏崎原子力広報センター  
代表理事 櫻井 雅浩

平成29年度「環境・エネルギー教育研修会」の開催について (ご案内)

日ごろ、当センターの事業にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本年度も「環境・エネルギー教育研修会」(小・中学校教職員向け放射線教室)を、下記のとおり開催いたします。一人でも多くの教職員の皆様がこの研修会を通じて、学校教育における指導の一助として活用していただければ幸いです。ぜひ、貴校から1名以上この研修会に参加していただきたく特段のご配慮をお願い申し上げます。

#### 記

#### 1 開催日時

小学校教職員対象 平成29年5月10日(水) 午後3時～4時40分まで

中学校教職員対象 平成29年5月11日(木) 午後3時～4時40分まで

#### 2 場 所 (公財) 柏崎原子力広報センター 1階実験室

柏崎市荒浜一丁目3番32号(駐車場あり)

#### 3 研修内容 添付の案内のとおり

#### 問い合わせ

(公財) 柏崎原子力広報センター

945-0017 新潟県柏崎市荒浜 1-3-32

TEL 0257-22-1896 FAX 0257-32-3228

Eメール [info@atomuseum.jp](mailto:info@atomuseum.jp)

## 平成29年度「環境・エネルギー教育研修会」のご案内

これは原子力発電所立地地域における小中学校の教職員の方を対象に、文科省より出された「放射線副読本」を活用して、放射線やエネルギーの基礎的な性質やその平和利用について理解を深め、授業実践に役立てていただくための研修会です。

また、昨年2月に新潟県から公表された「防災教育プログラム（原子力災害編）」の内容を考慮し、原子力防災の基礎知識とその必要性について紹介いたします。まだ受講したことのない方を優先として、各校1名以上の参加をお願いいたします。（※この研修は柏崎市立教育センターとの共催事業です。）

**対 象** 管内（柏崎市、刈羽村、出雲崎町）小学校、中学校教職員の皆様

**実施回数** 2回（各回20人程度）

**期 日** ○5月10日(水) 午後3時～4時40分まで  
小学校教職員対象の「放射線教育」  
○5月11日(木) 午後3時～4時40分まで  
中学校教職員対象の「放射線教育」

**研修内容** 授業デモンストレーション  
原子力防災を軸にした放射線の基礎知識を説明する。「放射線副読本」を活用し、放射線の基礎知識・放射線による影響・放射線の管理・防護等放射線教育に関する授業プラン、指導案、実践事例の紹介、測定器を使った実習、「霧箱」で放射線の飛跡を確認する。

**研修会場** （公財）柏崎原子力広報センター 1階実験室

**講 師** ふにゅう たけし  
舟生 武司 氏（株e-サイエンスコミュニケーション）

**申し込み** ①学校名 ②参加者名 ③参加日を記載し、電子メールで  
柏崎市立教育センター（[kec@kenet.ed.jp](mailto:kec@kenet.ed.jp)）へお申し込みください。  
※既にお申し込みいただいた方は、改めて申し込む必要はありません。  
※ 申込み期日 **平成29年5月9日（火）**まで

**参加費** 無料（学校側の負担はありません）

**実施団体** （公財）柏崎原子力広報センター

**その他** 研修会終了後、「アンケート」のご記入をお願いいたします。

## 研修の内容と目的

- ・放射性物質や放射線が及ぼす人体への影響等
- ・放射線の種類や性質、特徴を理解する。
- ・放射線を自ら考え、判断し、放射線から身を守ろうとする意識を高める。



6/15 管内小学校教職員  
於柏崎原子力広報センター



6/16 管内中学校教職員  
於柏崎原子力広報センター

### ■参加者のご感想 (一部抜粋)

- ・これまで放射線について誤った認識がありましたが、ある程度理解できました。
- ・放射線の悪い部分だけでなく、いろいろな利用がされており、生活に役立っていることを知る事ができて良かった。
- ・まず我々大人が正しい知識を得ていないと、子供達に放射線についての指導はできないと考える。とても有意義な時間であった。
- ・福島からの避難者がいる場合、その子が偏見等もたれることなく、学習に参加できるようにしたい。
- ・継続して参加することで理解を深めることができました。ぜひ次回も参加したい。